

# 指示語の理解

名前

学習日

## ポイント

○ここそあどことばについて、正しい使い方を学習しましょう。

## きほん問題



次の(1)～(5)の文の  に入るふさわしいことばを、それぞれあとから一つずつえらび、記号で答えなさい。

(1) さきほども家によったのですが、いなかったみたいです。  
 いったい、  に行っていたのですか。

- ア ここ      イ そこ  
 ウ あそこ      エ どこ

(2) 今まで、一人きりでがんばってきたのですね。  から  
 は、わたしが力になりました。

- ア これ      イ あれ  
 ウ それ      エ どれ

(3) おいおいには  プレゼントがほしいですか。

- ア あんな      イ そんな  
 ウ こんな      エ どんな

(4) あなたが手にしている  本は、だれが書いたものですか。

- ア この      イ その  
 ウ あの      エ どの

(5) 川の向こう側が東町で、川の  側は西町です。

- ア こちら      イ そちら  
 ウ あちら      エ どちら

指示語の理解

名前

学習口

チャレンジ問題

1 次の(1)～(2)の文の□に入るふさわしいことばを、それぞれあとから一つずつえらび、記号で答えなさい。

(1) あなたの目の前に、とても古い本がおいてあるでしょう。

□ 本は、わたしがおじいさんからもらったものです。

ア この イ その

ウ あの エ どの

(2) 何の絵をかいてもよいそうですが、あなたは、□絵をかきますか。

ア こんな イ そんな

ウ あんな エ どんな

2 次のそれぞれの文から、指ししめすことば(こそあどことば)を一つずつさがし、(一)の字数で書きぬいて答えなさい。

(1) こんな練習方法では、なかなか試合に勝てないだろう。(三字)

(2) あしたの試合はきっと勝てる。ぼくは、そう思います。(二字)

(3) あのビルの手前に見える建物<sup>たてもの</sup>が、銀行です。(二字)

(4) なぜそんなうわさを流したのか、わかりません。(三字)

(5) こちらの席<sup>せき</sup>のほう<sup>ほう</sup>が、舞台<sup>ぶたい</sup>の様子がよく見えますよ。(三字)

指示語の理解

きほん問題

かい答	
<div>◆</div> <div>(5) ア   (4) イ   (3) エ   (2) ア   (1) エ</div>	<div>◆</div> <div>近くのことを指しめすときは「これ・この」など、少し遠くのものや相手の近くにあるものは「それ・その」など、遠くにあるものは「あれ・あの」など、はっきりとわからないときは「どれ・どの」などを使います。</div>

指示語の理解

チャレンジ問題

かい答		アドバイス	
1	(1) イ (2) エ	1	(2) はっきりわからなくて人にたずねるときは、「どれ・どんな」などを使います。
2	(1) こんな (2) そう (3) あの (4) そんな (5) こちら	2	(5) 「こちらの席 <sup>せき</sup> 」というときには、その席は相手ではなく自分に近い席だとわかります。もし「そちらの席」ならば、自分より相手に近い席を指します。